

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１７～２４ 台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網--西彼地区では、マアジなどが１日１統当たり２２トンの水揚げで、前週の３．１倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが１日１統当たり１６トンの水揚げで、前週の１．３倍（前年並み）。

イカ釣----ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり３６kgの水揚げで、前週の２倍（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、ダツなどが１日１統当たり４５０kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり１３４kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが１日１統当たり１２０kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが１日当たり１９９kgの水揚げで、前週の６６％（前年並み）。野母地区では、マアジが１日１統当たり２６kgの水揚げ（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（１１／２０～１１／２５の６日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸～三沢北東沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）は、２日延４隻、総計４５５箱、１航海最高７３箱、平均１１３．８箱。

ケンサキイカ（２～３立）４３７箱、アオリイカ１８箱を漁獲。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>